

青森県立保健大学附属図書館だより

Rapport

32

APRIL 2019 NUMBER

大学生と図書館

理学療法学科助教 新岡 大和

図書館と私～この頃、思うこと～

総務課総括担当（図書課兼務） 笹 常春

特集

新入生へのメッセージ

看護学科3年▶小笠原 璃南 理学療法学科3年▶遠藤 陽季

社会福祉学科2年▶坂本 花歩 栄養学科3年▶山村 莉央

図書館活用術 第8回

「図書館において創る授業」 栄養学科准教授 浅田 豊

自著紹介 第7回

「社会とかかわって学ぶ

：大学生が取り組んだ世代性と市民性のサービス・ラーニング実践」

看護学科教授 古川 照美

シリーズ 図書館を使いこなそう 第32回

「電子書籍を読んでみよう～洋書編～」

ヘルスリテラシー関連図書の紹介 第2回

『ラポール』は、人間同士（学生&教職員&地域住民&県民）のつながりを意味します

Rapport : フランス語で、関係・関連・類似点

大学生と図書館

理学療法学科助教

平成 30 - 31 年度図書館委員

新岡 大和

ニイオカ

ヤマト

『だめだこりゃ』。ザ・ドリフターズの偉大なリーダー、故いかりや長助さんの自伝タイトルである。『音楽は4流、笑いは素人』であったザ・ドリフターズはその後、あのビートルズ日本公演の前座を務め、『8時だよ、全員集合!』でお茶の間の人気者となった。この本にはそんな“長さん”の素敵な人生ストーリーが記されている。大学三年生の夏休み、野球サークルの後に“涼”を求め、極めて不純な動機で図書館に向かった。なんとなく手に取ったこの本をもって席へ向かっていると、同じ学科の一年生から声をかけられた。「何を勉強してるんですか?」。まだ入学して間もない一年生は、間もなく病院実習に臨む三年生の私が手に取るべき専門書を数冊抱えていた。「涼みに来た暇つぶしにこれを…」などと答える素直さはなく、また、わけのわからない上級生のプライドが邪魔し、その場をいいように取り繕った記憶がある。その状況と手にもった本のタイトル、なんとも情けなく格好悪かった。文部科学省によると、大学図書館には大学生の学習や大学が行う高等教育及び学術研究活動全般を支える役割があるそうだ。“涼”を求めて利用するのは論外だが、文庫本をふらっと読むこと自体は悪いわけではない。しかし、大学生、ましてや上級生の大学図書館利用方法としては格好良いものではなかった。学生の皆様、図書館利用方法は大学生仕様になっているのでしょうか。是非、スマートに図書館を利用して下さい。

その後、大学院に進学し、教員になり、私の図書館との付き合い方も少しはマシになったと思う。その間、インターネットが盛んになり、図書館を巡る環境は私の大学生時とだいぶ変わった。当時、電子タブレットはおろかスマホもなく、書籍をスマホで見ることはなかったし、調べ物をスマホですることはなかった。パソコンは持っていたが、課題をするには図書館が最適だった。今では無料で公開される論文・書籍等も増え、また、必要な情報をまとめているサイトもあり、いつでもどこでも読書や調べ物ができる。いまや図書館を利用する理由は少なくなっているのではないか、そんなことも思うのだが、本学では驚くことに図書館を利用する学生は増加している。



疑問に思い、図書館を頻繁に利用する学生達に理由を聞いてみた。すると、「家にいると課題に集中できない」、「関連する書籍がまとめて並んでいるので調べやすい」、「だいたい近くに同じ課題をしている人がいて相談しやすい」とのことだった。私なりに解釈すると、「調べる時間と場所の自由度は増しているが、その分、自分でコントロールするのが難しい」、「目的に応じた多くの情報にアクセスできるが、適切な選択が難しい」、「誰とも連絡を取れるが、同じ境遇にある人を探すのが大変」、といったところだろうか。ある意味、図書館が場所、時間、情報、人を制限したり、絞り込んでいる。決められた場所や時間で、ある程度同じ情報量を分かち合っ、一緒に共通の課題に向かう…。なんだか古き良きコミュニティのようだ。最近の学生でも、そのようなコミュニティに居心地の良さを感じているのかもしれない。私の杞憂は短絡的であった。大学生にとっての図書館の存在意義は揺らいでいない。

さて、本稿の依頼を受け、図書館について思うことを取り留めなく連ねました。最後に、教員になって4年目、中身は素人の（ではないと信じて）私が今後どうなるかはさておき、学生の皆様が本学での4年間を充実して過ごせること、そして今後の人生が“長さん”のような素敵なストーリーとなることを願っております。図書館との関わりが鍵になるかも…。



図書館と私～この頃、思うこと～

総務課総括担当（図書課兼務）

平成 30 - 31 年度図書館委員

笹 常春

ササ

ツネハル



37年間の県職員生活を終えて、昨年4月から総務課で勤務しています。図書課も兼務しており、ときどき図書館の事務室にも足を運んでいます。

県職員時代は、福祉事務所、児童相談所、保健所などに勤務しておりました。本学を卒業した保健師、ケースワーカー、児童福祉司の皆さんと一緒に仕事をする機会も多かったものです。業務を通じて本学の教員の方々とも交流を深めました。その中で特に強い衝撃を受けた職場は、やはり児童相談所でした。最後の一年間も児童相談所で、所長として虐待されている児童を保護者から強制的に分離する一時保護を決定する機会も多かったものでした。かなり強い権限だと思いました。昨今、千葉県野田市の10歳の女児の死亡事件のような、あまりにも悲しく、痛ましい事件が連日、新聞やテレビで報道され、一時保護を解除し、保護者のもとに帰した児童相談所長の会見の様態を目にするたびに、あの日、あの時の自分の判断は正しかったのかと自問自答する、今日この頃です。

児童相談所で児童虐待の防止、児童の安全安心の確保のために働きたいと考えている学生や児童相談所ってどういうところかしらと思っている方にお勧めなのがこの一冊です。

「ルポ 児童相談所」（大久保真紀、朝日新聞出版）は、児童相談所の児童虐待対応現場の生々しい状況、児童福祉司の昼夜をたがわずの過酷な勤務実態等が描かれています。

本県でも、中央児童相談所への非常勤の弁護士や現職警察官の配置もされ、虐待事案対応の支援体制は強化されており、国においても児童福祉司のさらなる増員を行うこととしていますが、現場で求められているのは経験豊富で屈強な精神力を持った児童福祉司です。社会福祉学科の学生の皆さんには大いに期待しています。

さて、私が最初に本学で勤務したのは、法人化前の平成16年から18年までの3年間、教務学生課長としてでした。私と大学図書館との出会いもそのころになると思います。というのは、自分の大学生時代には図書館に足を踏み入れることはほとんど皆無でしたので。その時（平成16年）に抱いた印象は、本学の学生はなんと勉強が好きなんだろうと。それは、今も同じ思いです。冬の試験期間中、開館時間（8時45分）前から熱を帯びたようなまなざしで一心不乱に図書館が開くのを待っている学生の姿。そして、真夏の夜11時を過ぎても無人開館の図書館の窓辺には学生の姿が見えたという図書課長の話を聞くと、本学の学生のまじめさには感嘆せざるをえません。

本学図書館の蔵書は約13万冊、そのほとんどが保健医療福祉系の専門図書、文献が多く、グループ学習室、メディアスペースなどもあり、まさに図書館はみなさんの学びの場であり、憩いの場でもあります。

学生と教職員には「きょうよう・きょういく」が大事です。「きょうよう」とは、今日の用事であり、「きょういく」とは、今日行くところです。それは、「図書館へいくこと」です。

誰か私を図書館に連れてってとは言わずに、自ら足を運んでください。頭の栄養がいっぱい詰まった空間と時間が待っています。

本文中で紹介された『ルポ児童相談所』は図書館で所蔵しています。

配架場所:2階開架 請求記号:369.43||O54



図書館を利用する皆さんへ

看護学科 3年 小笠原 璃南
オガサワラ リナ

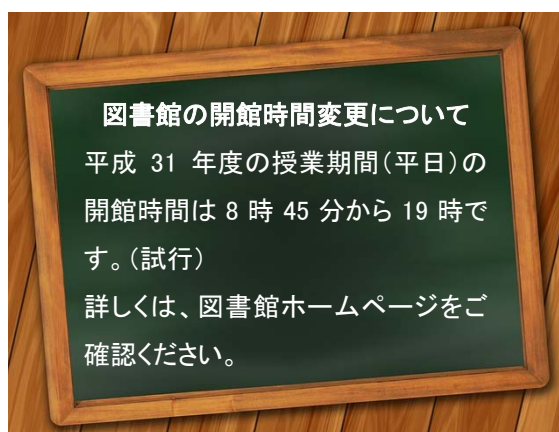
新入生のみなさん入学おめでとうございます。これからの大学生活を楽しみにしている方が多いと思います。大学生活では、多くの体験をしていくと思います。初めての講義、初めての実習やサークル活動など多くの方と関わる機会が増えていきます。「初めて」からスタートする皆さんが、自分の夢のためにどのように行動を起こしていき、何を得ていくのかとても楽しみです。

私は、大学に入り多くの「初めて」を経験していく中で、仲間の大事さと努力を怠らない大事さを感じています。これから、勉学に励んでいく中で行き詰まることはあると思います。そんな時、一緒に困難を乗り越えてくれる仲間や自分を信じてしてきた努力が報われる時が必ず来ます。その喜びを皆さんが感じられるように、今しかできないことを精一杯取り組んでほしいと思います。

自由な時間が多くある一方で、学ぶことが多い大学では自分自身で積極的に勉学に取り組む必要があります。そんな時に利用してほしいのが図書館です。青森県立保健大学の図書館は、多くの専門的図書が置いてあります。これから皆さんは、様々な専門的知識が求められ、多くのレポートを書くと思います。その時に、根拠のある内容を書くために利用してほしいです。また、テスト期間でも利用してほしいと思います。図書館は通常 20 時までですが、無人開館というものに登録すると 24 時まで利用することができます。集中できる環境が整っているため、多くの人に利用してほしいと思います。

その際、注意してほしいこともあります。皆さんが集中して勉学に励めるように、図書館を管理する職員の皆さんはいつもその管理をしてくださっています。寒い冬には、暖房が稼働していないときにも暖かくしてくださり、暑い夏には扇風機を用意してくださいます。私たちが、その環境を壊さないようにルールはしっかり守って利用しましょう。

最後に、専門職として将来を担う皆さんが楽しいキャンパスライフを送れるように応援しています。一緒に頑張りましょう！





便利な図書館

理学療法学科 3年

遠藤 陽季
エンドウ ハルキ

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。辛く大変だった受験期を乗り越えて、これから始まる大学生活に期待で胸を膨らませていることかと思えます。大学生活はサークル活動やアルバイトやボランティアなど色々なことに挑戦し、自らの可能性を広げることのできる時期であります。その中でも、最も幹となるのは勉学の励みであると思えます。勉学に励みながら様々なことに挑戦し自分の可能性を広げたいならば是非とも附属図書館を最大限に利用しましょう。附属図書館を利用する中で便利だと思うシステムが2つあります。

1つ目は、「無人開館」です。無人開館とは利用の手続きをあらかじめ済ませると、通常の開館時間以外に早朝・深夜でも図書館を利用できるシステムのことです。テスト期間には多くの人が実際に利用しています。大学の期末試験は高校の定期考査とは異なり範囲が広く専門的であり簡単なものではありません。1人で勉強をしていると心が折れそうになってしまうことがあります。しかし、無人開館を利用すると静かな環境を提供してくれるだけでなく、同じく勉学に励んでいる仲間が周りに多くいるので心が折れそうになっても頑張る勉強に励むことができます。

2つ目は、「グループワーク室」です。図書館は静かに勉強をしなければならないところであると思っている方がほとんどだと思いますが、このグループワーク室では会話をすることが許されています。大学では個人の勉強だけでなくグループで何か1つのテーマを設定し、考え、まとめてレポートを作成する機会が格段に増えます。図書館で集まり作業することによりわからない点があっても図書館には多くのレポート・書籍・雑誌が揃っているため直ぐに確認することができ効率よく作業を進めることができ、内容の深いレポートを作成することができます。グループワークを行う際は積極的に利用してください。

今まで、図書館をあまり利用した時のなかった人は是非とも図書館を利用してみてください。図書館を利用する便利さを実感することができると思えます。皆さんに合った使い方が見つかれば、4年間の大学生活が有意義になることを願っています。

新入生の皆さんへ

社会福祉学科 2年

坂本 花歩

サカモト カホ



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今皆さんは、大学生になるということへの楽しみや不安、緊張など色々な思いを抱えていると思います。大学生としての新しい生活が始まると、毎日が学びの連続です。勉強はもちろん、人との関わりや新しいことへの挑戦など、学ぶことがたくさんあります。大変なことではありますが、とても楽しくて気持ちが豊かになります。私たち上級生も、皆さんの新しい生活を喜んでサポートします。一緒に充実したキャンパスライフを送りましょう！

そのためにも、学生の本分である勉強は欠かせません。大学では自分の将来を見据えた専門的な勉強をするので、様々な分野の知識を得ることが必要です。そこで私たちを助けてくれるのが図書館です。本学の図書館には 4 学科それぞれの分野に関連したたくさんの本や雑誌、論文などがあり、自分の気になる分野に沿った文献を見つけることができます。専門性の高い文献が揃っているため、レポートを作成する際には様々な文献を積極的に活用することをおすすめします。また、勉強スペースも多く設けられています。1人で、またはグループで静かに勉強できるスペースや、話し合いなどグループワークをしながら勉強できるスペースなど、それぞれの目的に合わせた勉強スペースが設けられているため、のびのびと集中して勉強に励むことができます。

その他に雑誌や小説、漫画本などもあり、バラエティに富んでいます。勉強に疲れたら雑誌を読んで息抜きをするのもいいでしょう。

また、本学の図書館には、開館時間外でも図書館を利用できる『無人開館』というシステムがあります。ガイダンスに参加して申請をすれば、朝の 6 時から夜の 24 時まで図書館を利用することができます。私は授業終わりにしばらく図書館で勉強をしたり、テストの日の朝に最終確認をしたり、というように無人開館を利用していました。

図書館は、皆さんが自分の将来に向かって勉強することを全力で応援してくれるとても心強い味方です。図書館をたくさん活用して、自分自身を高めていきましょう！

図書館を積極的に利用しよう！

栄養学科 3年 山村 莉央

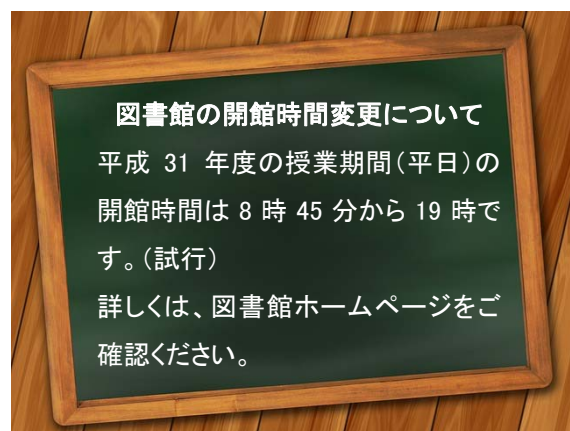
ヤマムラ リオ



新1年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生になって、勉強、サークル、バイトなど楽しみなことがたくさんあると思います。サークルやバイトは学科や年齢の違う人と交流することができ、とても刺激的になると思います。また、寮生活や1人暮らしを新たに始める人も多いと思います。

そこで皆さんにぜひ利用してほしい場所が図書館です。大学ではレポートを書くことがあり、図書館はそのレポートを書くための参考本を探すことはもちろん、看護、理学療法、社会福祉、栄養の4学科の専門的な本がたくさんあり、自分の知識を高めることができます。また図書館は勉強する場所としても有効に活用できます。私は、家ではテレビに気を取られて勉強に集中できないため、テスト前には必ず利用しています。図書館は自分以外にもたくさんの人が集中して勉強しているため、自分もその空間の中で集中して勉強を進めることができます。図書館の1階にはグループワークルームという部屋があり、そこでは友達と話しながら勉強をすることができ、わからないことがあったらすぐに相談をすることができます。私はよく友達と問題の出し合いをしていました。さらに、図書館には「無人開館」というシステムがあり、通常平日は、夜20:00には図書館が閉館してしまうのですが、無人開館利用の手続きを行うと閉館後も夜24:00まで、朝は開館前の6:00から利用することができます。無人開館の利用手続きはとても簡単なので、家で勉強をすることが苦手な方には無人開館の利用をお勧めします。

これから始まる大学生活は、新しいことだらけで楽しいことや大変なことがあると思いますが、ぜひ図書館を活用して有意義に大学生活を送ってください！！



図書館において創る授業

栄養学科准教授

浅田 豊

アサダ

ユタカ

講義における教授・学習法をよりよいものにするための創意工夫並びにその設計をこれまで続けてきたが、図書館内という学習環境が内容的にも科目の分節に適した領域があったので、その取り組みを紹介・省察したいと思う。人間総合科学科目の調査と科学的方法（1単位）の後半部分（写真1及び2）を最適化するための教材・教具の準備、授業過程の検討、今年度の受講学生のレディネス・ニーズ把握等を総合的に展開したところ、当該授業コマ前半の理論解説と同終盤の議論の時間との間に、幅広い資料探索・講読を学生同士が協働しながら行う時間を接続することが有効であると判明した。



写真1



写真2

なぜ図書館において授業を創る必要があるのか。理論解説は講義室の中で十分できる。少人数での質疑応答や議論は、研究指導・ゼミの時間、相互学習の時間に可能である。また実際の資料探索はガイダンスやICT利用可能な施設においても行うことができる。しかしその全てがつながりをもち連続した時間の中で効果的に実施するには、本学図書館の中の施設・設備が非常に役立つものであった。受講学生は、とても熱心な学生たちである。問題意識も明確で、相互理解のもと、質疑応答や議論は常に活発であり授業を通じ相乗効果が生まれていた。本来、授業は学生と教員との相互作用を含むものである。よって、どのような授業を創っていくかという点については、無論、学生の反応を踏まえつつ教授法・学習法等に適切な見直しを加えた、教員の一つの創造的取り組みとして位置づけられることが望ましい。その際、長年にわたりその観念・身体に刻まれた独自の様式、あるいは授業に対する考え方があるならば、その背景・前提を適宜うたがい問い直し、より良いものへ変容させていくことが不可欠であろう。今後も多様な資源を必要に応じて活かしながら、授業に対する研究と実践を続けていきたいと考える。



自著紹介

第7回



『社会とかかわって学ぶ』

： 大学生が取り組んだ世代性と市民性のサービス・ラーニング実践』

看護学科教授

古川 照美

コガワ テルミ



● ● ●
深作拓郎, 増田貴人,
古川照美, 生島美和,
飯野祐樹
弘前大学出版会
2018年3月発行
377.15||F72

本書は、大学生を対象に子どもとかかわりあうことを含めた地域社会参加を体験的に学ぶサービス・ラーニング(Service Learning)という教育方法を用いて、学生たちの市民性の涵養や地域および家族についての意識を高める教育実践を紹介したものです。現代社会における育児世代の地域社会からの孤立、人間関係の希薄化、学生と地域社会の接点の乏しさなどを課題として、大学生をその対象とした経緯から、プログラムの開発に至った経緯、試行的なプログラム開始から、試行錯誤しながら修正してきた内容など、具体的な実践報告になっています。地域社会を学んでいくには市民性と並んで世代性の視点が重要と考え、多様性やマイノリティへの配慮のための育児支援を盛り込んでいます。本プログラムはまだ研究途上ですが、学生や若者の地域社会参加を考えている人、市民性や世代性の涵養にかかわる教育方法などについて検討している人など、地域社会にかかわっている多くの人たちにみていただき、さらに議論を深めていきたいと思っています。

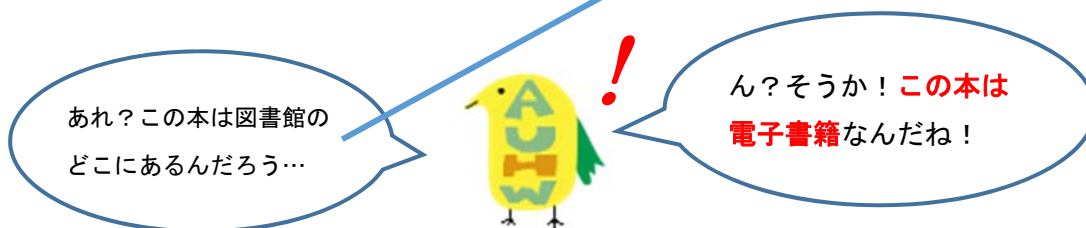


電子書籍を読んでみよう！ ～洋書編～

【電子書籍とは】紙に印刷されたものではなく、電子化された書籍データをスマートホンやタブレット型端末、パソコンで閲覧できるもの。

その1・[蔵書検索結果に表示されたものを読んでみよう]

1	 Encyclopedia of human nutrition / edited by Benjamin Caballero, Lindsay Allen and Andrew Prentice. -- 3rd ed. -- Elsevier, 2013
	参照URL SBN: 9780123848857 分類: DC23 613.203 書誌No. BD00138562
2015/09/30	図書館 電子書籍 EB498.55 E58



「参照 URL」をクリックすると電子書籍が読めるページへジャンプします。

※同じ本を利用している人がいる場合、「閲覧中」のため読むことができません。(時間をおいて利用してみましょう。)

※パッケージ契約している電子書籍は、蔵書検索結果に表示されません。パッケージへのアクセス方法は「その2」へ！

その2・[パッケージにアクセスして読んでみよう]

<図書館ホームページトップ画面>

「Health & Medical Collection (旧: ProQuest Health and Medical Complete)」にアクセスすると電子書籍を読むことができます。



Health & Medical Collection (学内限定)
英語の医学系電子ジャーナル・電子書籍
(旧・ProQuest Health and Medical Complete)

電子書籍や電子ジャーナルを利用する時は、以下のルールを必ず守ってください。

- ・機械的な(ロボット等による)大量のダウンロードや、特定の雑誌を大量にダウンロードをすると、**大学全体が使用停止となりますので、厳禁です。**
- ・ダウンロードした文献は、いかなる方法でも複製・再配布することはできません。

では実際に電子書籍を読んでみましょう！(次のページへ)

<Health and Medical Collection(旧:ProQuest Health and Medical Complete)>

▼検索したいキーワードを英語入力、「全文」のチェックボックスに✓を入れて検索アイコンをクリック。

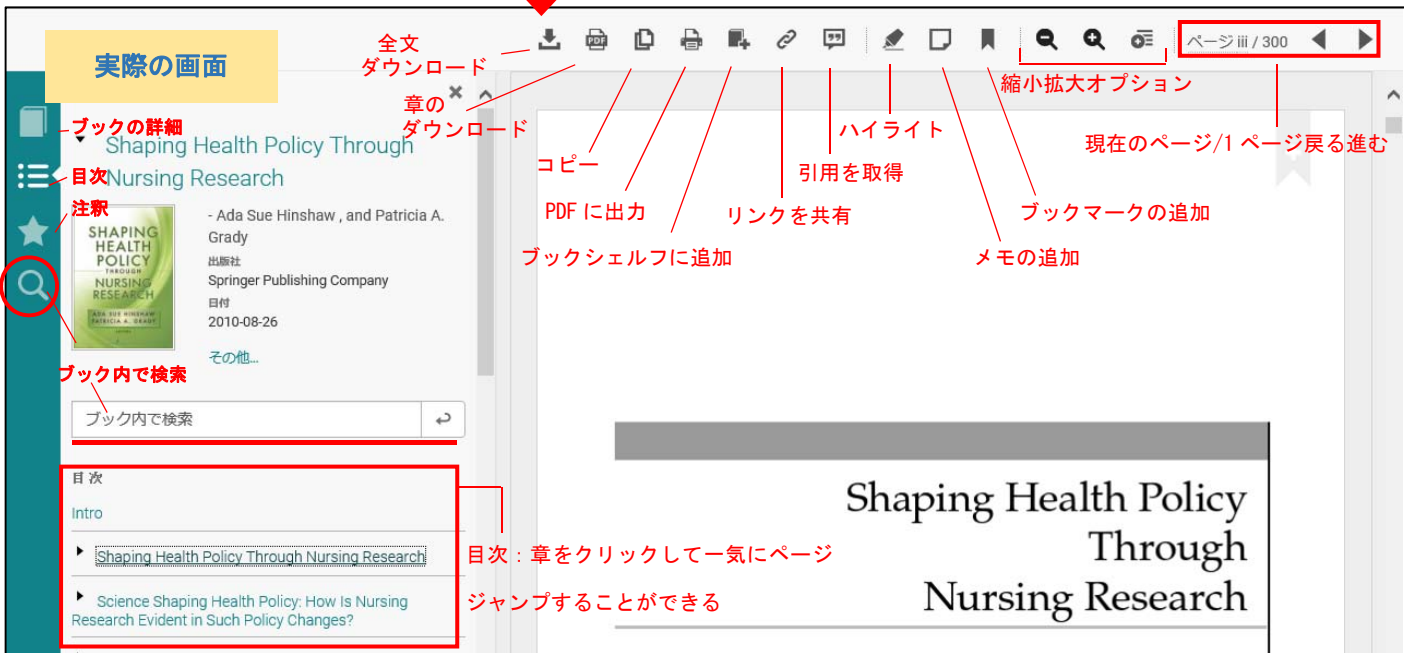


- 並び順
 - 出版日の範囲
 - ドキュメントのタイプ
 - 言語
 - 出版物のタイトル
 - 主題(「詳細」)クリックで選択と変更可能
- …等を左側のメニューで確認・変更できる。

電子書籍詳細画面



- 「オンラインで読む」
- その場ですぐ読みたい場合等に
- 「全文ダウンロード」
- ダウンロードして後で読みたい場合等に(貸出期限あり)
- …どちらかをクリック



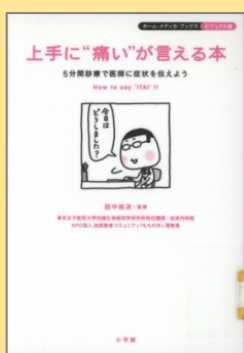


ヘルスリテラシー推進特命部長
大西基喜 特任教授

2015年、青森県立保健大学では県民の健やか力（ヘルスリテラシー）向上を目指して、「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言」をしました。

図書館ではヘルスリテラシーに関連する図書を集め、青森県内の図書館に貸出を行っています。今回は90冊の中の1冊をご紹介します。

『上手に“痛い”が言える本
: 5分間診療で医師に症状を伝えよう』
田中祐次監修
小学館
2010年6月発行



人（あなた）はいつ病気（患者）になるかわかりません。

病院で納得のいく診療・治療を受けるコツがイラスト付きでわかりやすく理解できます！

患者術を身につけて、いざという時に。

「ヘルスリテラシーブックフェア」と題して、ヘルスリテラシー関連図書のコーナーを設置しています。

図書館1階エレベーター前にて展示中です。どうぞご利用ください。



ヘルスリテラシーブックフェアのポスター



ヘルスリテラシー関連図書の紹介

m e m o

TOPICS

- よく勉強している保健大学生 -

保健大学の学生さんが1年間に図書館で借りた本の冊数は、一人当たり約25冊です（平成28年度）。

全国の大学生が自分の大学で借りた本の冊数は一人当たり約8冊*ですので、保健大学の学生さんがよく図書館の本を使って勉強している姿が数字から見えてきますね。

※文部科学省学術情報基盤実態調査大学図書館編より下記の式にて算出
平成28年度学生貸出冊数合計÷平成28年5月1日現在学生数合計
<https://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001015878>

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第32号

平成31年4月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.auhw.ac.jp/library/index.html>

図書館広報キャラクター「トリゾウ」

2011年3月、社会福祉学科成田悠介さん・福土悠輔さん・牧野祥諒さんのアイデアをもとに誕生。図書館の広報活動で活躍しています。

